

令和6年度 町立中標津病院 経営強化プラン 実績

強化プランページ

P16 【医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標】

項目	目標値（令和9年度）	実績	比較
地域救急貢献率（％）	25.0	※1	
地域分娩貢献率（％）	50.0	※1	
リハビリ件数（件）	12,000	12,357	357
在宅復帰率（％）※2	90	85.6	▲4
紹介率（％）	15	12.1	▲3
逆紹介率（％）	12	12.1	0
地域医療研修の受入（件）	20	18	▲2
医療相談件数（件）	6,300	5,031	▲1,269

※1 令和6年度の管内実績が未公表のため未記載

※2 地域包括ケア病床分

P26 【経営指標に係る数値目標】

年度 経営指標に係る数値目標			令和 6 年度（計画）	令和 6 年度（実績）	比較
収支改善	純損益（百万円）		▲ 249	▲ 358	▲109
	経常収支比率（％）		94.9	93.5	▲1.4
	医業収支比率（％）		81.9	82.7	0.8
	修正医業収支比率（％）		75.8	76.7	0.9
収入確保	1 日当り患者数	入院（人）	111	107	▲4
		外来（人）	625	632	7
	患者 1 人 1 日当り 診療収入	入院（円）	43,266	49,020	5,754
		外来（円）	10,329	9,877	▲452
	病床利用率（％）		64.2	61.8	▲2.4
経費削減	職員給与費対修正医業収益比率（％）		55.3	54.3	▲1.0
	材料費対修正医業収益比率（％）		22.4	23.0	0.6
経営の安定性	一般会計繰入金（百万円）		1,308	1,201	▲107
	現金保有残高（百万円）		231	178	▲53
	企業債残高（百万円）		2,630	2,363	▲267

P27 【診療科別医師確保目標】

診療科	令和6年度（計画）	令和6年度（実績）	比較
内科	7	8	1
小児科	1	1	0
外科	2	2	0
整形外科	2	1	▲1
産婦人科	2	2	0
泌尿器科	0	0	0
耳鼻咽喉科	1	1	0
眼科	0	0	0
皮膚科	1	1	0
麻酔科	1	1	0
精神科	1	1	0
放射線科	0	0	0
循環器科	0	0	0
リハビリテーション科	整形外科医師が兼務		
合計	18	18	0

注）医師数には会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）医師を含む

	令和6年度（計画）	令和6年度（実績）	比較
助産師	9	9	0
看護師	92	94	2
准看護師	17	17	0
看護助手	28	30	2
看護部計	146	150	4
薬剤師	6	6	0
診療放射線技師	8	7	▲1
臨床検査技師	10	12	2
臨床工学技士	10	10	0
理学療法士	5	5	0
視能訓練士	3	3	0
言語聴覚士	1	1	0
作業療法士	2	2	0
栄養士	1	1	0
柔道整復師	1	1	0
医療技術合計	47	48	1
事務職員	24	24	0

注）医師数には会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）医師を含む

P30【収 支 計 画】

① 収益的収支

(単位：百万円、%)

年 度		令和6年度 (計画)	令和6年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,803	3,912	109
	(1) 料 金 収 入	3,329	3,444	115
	入 院 収 益	1,753	1,921	168
	外 来 収 益	1,576	1,523	▲ 53
	(2) そ の 他	474	468	▲ 6
	うち他会計負担金	287	288	1
	2. 医 業 外 収 益	859	761	▲ 98
	(1) 他会計負担金・補助金	733	625	▲ 108
	(2) 国（道）補助金	4	7	3
	(3) 長期前受金戻入	102	103	1
支 出	(4) そ の 他	20	26	6
	経 常 収 益 (A)	4,662	4,673	11
	1. 医 業 費 用 b	4,640	4,728	88
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,944	1,969	25
	(2) 材 料 費	789	835	46
	(3) 経 費	1,534	1,555	21
	(4) 減 価 償 却 費	346	346	0
	(5) そ の 他	27	23	▲ 4
	2. 医 業 外 費 用	271	271	0
	(1) 支 払 利 息	31	29	▲ 2
純 損 益	(2) そ の 他	240	242	2
	経 常 費 用 (B)	4,911	4,999	88
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 249	▲ 326	▲ 77
	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	32	32
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	▲ 32	▲ 32
	純 損 益 (C)+(F)	▲ 249	▲ 358	▲ 109
	累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0
	流 動 資 産 (ア)	805	801	▲ 4
	流 動 負 債 (イ)	898	988	90
当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 額 又 は 未 発 行 の 額	う ち 一 時 借 入 金	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 額 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0
	健 全 化 法 施 行 令 第 16 条 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	0	0	0
	健 全 化 法 施 行 規 則 第 6 条 に 規 定 す る 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (I)	246	247	1
	健 全 化 法 施 行 令 第 17 条 に よ り 算 定 し た 事 業 の 規 模 (J)	3,803	3,912	109
	健 全 化 法 第 22 条 に よ り $\frac{(H)}{(I)} \times 100$ 算 定 し た 資 金 不 足 比 率 (I)	0	0	0

年 度		6 年度 (計画)	6 年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 企 業 債	601	333	▲ 268
	2. 他 会 計 出 資 金	288	288	0
	3. 国 (道) 補 助 金	25	57	32
	4. そ の 他	0	0	0
	収 入 計 (a)	914	678	▲ 236
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	
	純 計 (a)-{(b)+(c)} (A)	914	678	▲ 236
支 出	1. 建 設 改 良 費	626	391	▲ 235
	2. 企 業 債 償 還 金	500	500	0
	3. そ の 他	0	0	
	支 出 計 (B)	1,126	891	▲ 235
収 支 不 足 額 (B) - (A) (C)		212	213	1
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	209	211	2
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0
	4. そ の 他	3	2	▲ 1
	計 (D)	212	213	1
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)		0	0	0
当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)		0	0	0
実 質 財 源 不 足 額 (E) - (F)		0	0	0

③ 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：百万円)

年 度		6 年度 (計画)	6 年度 (実績)	比較
区 分				
収 益 的 収 支		(122)	(68)	(▲ 54)
		1,020	913	▲ 107
資 本 的 収 支		(0)	(0)	(0)
		288	288	0
合 計		(122)	(68)	(▲ 54)
		1,308	1,201	▲ 107

注) 1. () 内は、基準外繰入金額

2. 地方創生臨時交付金を活用したコロナ対策に係る3条繰入及び4条出資金は、令和2年度地方公営企業決算状況調査表作成要領において、国庫補助金として取り扱う旨の指示があったことから、本表中においても、同様の方法で作成した。

P28【目標達成に向けた具体的な取り組み】

ア 人材確保・体制強化

(ア) 医師確保

・泌尿器科常勤医師が不在となったが、関係医療機関との調整や、医師確保が困難な地域への医師の航空運賃を支援する地域医療パスポートの活用により、泌尿器科の診療を継続できた。

(ウ) マネジメント・事務局体制の強化

・経営再建のため、病院経営コンサルタント業務を引き続き委託。定期的に職員と面談を行い、医療収益増加に繋がっている。

(委託開始: 令和2年4月1日 委託業者: 特定非営利活動法人病院経営支援機構)

P29 イ 収入増加・確保対策

(ア) 医療・救急連携

・当院の所在する根室医療圏に限らず、隣接する釧路医療圏とも引き続き連携を継続。より良い医療提供体制を維持するための情報交換や協力を推進。

(エ) 診療報酬の算定強化による収益の向上

・病院経営コンサルタントより診療報酬点数加算についてのアドバイスをもらい、収益の向上を図ることが出来た。

ウ 経費削減・抑制対策

(イ) 医療機器の計画的整備

・後年度の負担軽減を念頭した必要性和採算性を議論する場として、医療機器購入選定委員会を開催し、計画的な医療機器更新に努めた。

(ウ) 薬品・診療材料の適性管理

・院内物流を一元化し、コスト削減や業務効率の向上を目指し、令和7年度のSPD(院内物流管理)システム導入に向け、調査研究を実施。

【町立中標津病院運営委員会からの意見・提言】

- ① 令和6年度の決算について、過去の状況と比較すると懸命に取り組んでいることが伺える。
- ② 心無い言葉がモチベーションの低下や離職に繋がることは、病院運営に大きな影響を及ぼしかねないことから、カスタマー・ハラスメント対策についても議論していただきたい。
- ③ 患者が困らないよう、安定した医療体制の構築に引き続き取り組んでいただきたい。
- ④ 情報発信の更なる強化について検討してほしい。